

科目名	研究倫理学演習 Advanced Seminar in Research Ethics
授業形態	e-learning (30%)、演習(70%)
標準履修年次	1年次
実施学期・曜時限等	秋学期 B・C 応談
単位数	1単位
担当教員名	森 千鶴 Mori Chizuru 浅野美礼 Asano Yoshihiro 杉本敬子 Sugimoto Keiko
ティーチングフェロー(TF)・ ティーチングアシスタント(TA)	なし
オフィスアワー等	4B棟502室 オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡をしてから訪問すること
授業の到達目標 (学習成果)	(1) 研究倫理について理解し、説明できる (2) 研究者が研究倫理を学び続ける必要性を理解し、説明できる (3) 研究倫理に関する基礎的な知識を体系的に理解する (4) 研究倫理で学習した知識を応用し、自らの研究計画を発表することができる
他の授業科目との関連	看護科学演習Ⅰ、看護科学演習Ⅱ、看護科学研究
履修条件	なし
授業概要	看護研究者として必要な研究倫理に関する基礎的な知識、研究を推進するための研究の倫理的な配慮について具体的な事例を通して学び、実践力を習得する
キーワード	研究倫理、倫理原則、APA論文作成マニュアル
授業計画	演習の時間を設ける。 1-3 e-learning:e-APRINで 責任ある研究行為(基礎編)、人を対象とした研究(基礎編) 4・5 (12/6)3・4限(倫理的研究のデザイン)(浅野美礼) 6・7 (1/14)4・5限(論文作成の倫理) (杉本敬子) 8-10(2/20)3-5限(自らの研究計画における倫理的側面を発表)
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	e-learning:(30%)と演習(70%)を併用する 4・5「ポーリット, D.F.&ベック, C.T.」(近藤潤子監訳)(2010)看護研究 原理と方法, 医学書院の研究倫理の章を熟読しておく 6・7「アメリカ心理学会」(前田樹海、江藤裕之訳)(2011)APA論文作成マニュアル第2版, 医学書院を学習の上、持参すること 8-10 自己の研究計画の倫理的側面についてPPTで発表する準備をすること
成績評価方法	4-10の出席 2/3以上の出席を単位取得の要件とする e-learning修了書の提出 30%、研究デザインの理解 20% 論文作成における研究倫理の理解 20% 研究倫理に配慮した研究計画についてのプレゼンテーション 30% 合算して評価する A+ 90点以上 A 80点~89点 B 70点~79点 C 60~69点 D 59点以下

教材・参考文献・配布資料等	<p>ポーリット, D.F.&ベック, C.T.(近藤潤子監訳)(2010)看護研究 原理と方法, 医学書院</p> <p>アメリカ心理学会(前田樹海、江藤裕之訳)(2011)APA論文作成マニュアル第2版, 医学書院</p> <p>その他, 適宜manabaから配布する</p>
その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	<p>本講義で対象とする研究倫理は、看護科学研究で必要となるので、理解を深めてほしい。</p> <p>積極的に討議に参加する</p>